

社会貢献事業への取り組み

～障がい者の絵画活動支援プロジェクト～

- 障がいをお持ちの方の中には、絵画分野において突出した能力を持つ方がいらっしゃいます。
- しかし、皆さん発表の場がないのが現状です。
- 弊社は、作品の発表の場を創り出して、できるだけ多くの方の絵画活動のモチベーションを高め、支援する活動を展開しています。

皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

作品の展示事例・イメージ

病院待合室に展示する

- ・ 来館者や入院患者の心を癒してくれます。
- ・ 地域の子供達や、入患者（児童等）の絵もいっしょに展示する企画も喜ばれると思います。



病院の喫茶、休憩室に展示する

- ・ 来館者や入院患者の心を癒してくれます。
- ・ 地域の子供達や、入患者（児童等）の絵もいっしょに展示する企画も喜ばれると思います。



受付ルーム、会議室に展示する

- ・ 受付ルームや会議室に展示して来館者にみていただく
- ・ CSR活動のPRにもなります



仮囲いに作品を展示する

- ・ 地域の子供の絵画や、障がい者の絵画を展示します
- ・ CSR活動の取組身を通じて地域との絆を強めます。



自治体の交流スペース

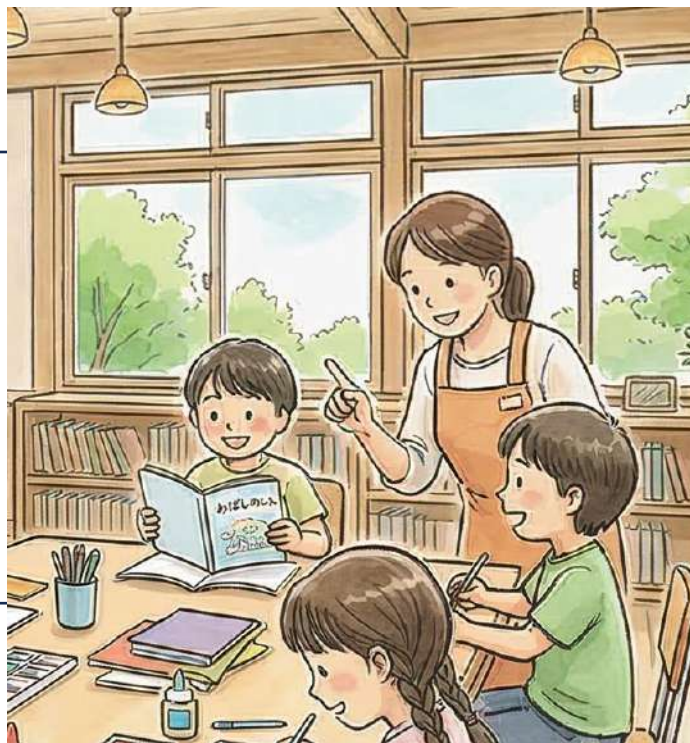
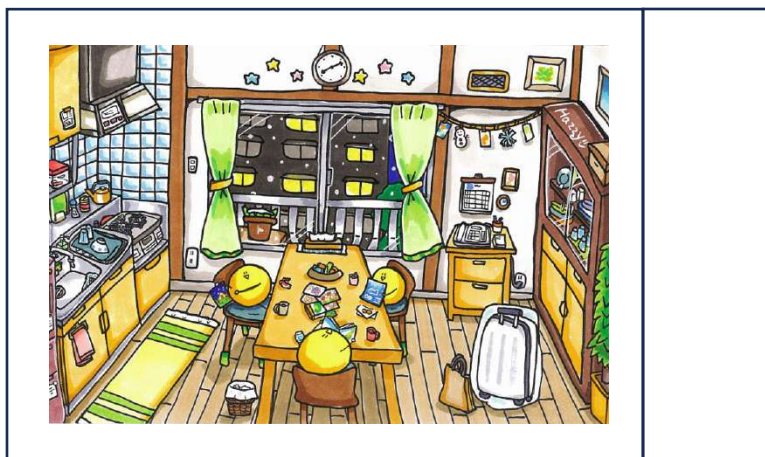
- ・ 地域の子供の絵画や、障がい者の絵画を展示します
- ・ CSR活動の取組身を通じて地域との絆を強めます。



絵本作り

作品を絵本にして、弊社とお取引のある病院や介護施設・保育園に贈呈

当社が雇用した障がい者の絵に、簡単な物語りや詩をつけた
「癒やされる絵本」を自社制作します



ノベルティ制作

作品を利用した癒しのノベルティの制作を提案します

- ・ 卓上カレンダー
- ・ ハンカチなど

2026年度卓上カレンダー表紙



オリジナルカレンダーの制作をご希望の方は
別途ご相談ください



1月 旅のプラン、
みんなで相談



2月 旅支度



3月 荷物を積ん
で出発だ



4月 旅の始まり



5月 カフェでモー
ニング



6月 水族館で涼
やかなひととき

作家紹介

癒しのアートデザイナー

作家 重谷一甫（おもたにはじめ）

2008年生まれ。小学校6年生のときに発達障がいの診断を受ける。幼いころから親しんできたイラスト制作に取り組んでいたところ、作品が企業カレンダーに採用され、テレビや新聞にもとりあげられる。これを機に、2023年「パラアート東京 第10回国際交流展」では《夏祭り》がパラアートジュニア賞を受賞。翌2024年には《時空を超えた銀の旅、石見へ》が入選。2025年には《たたらの里～雲南に息づく鉄の記憶～》が入選、3年連続の受賞となった。毎年個展を開催。独自の感性と視点から生まれた癒しの空間「まるちゃんworld」は、多くの観覧者を魅了している。





1：旅のプラン・みんなで相談



2：持ち出し



3：荷物を積んで出発だ



4：旅の始まり



5：カフェでモーニング



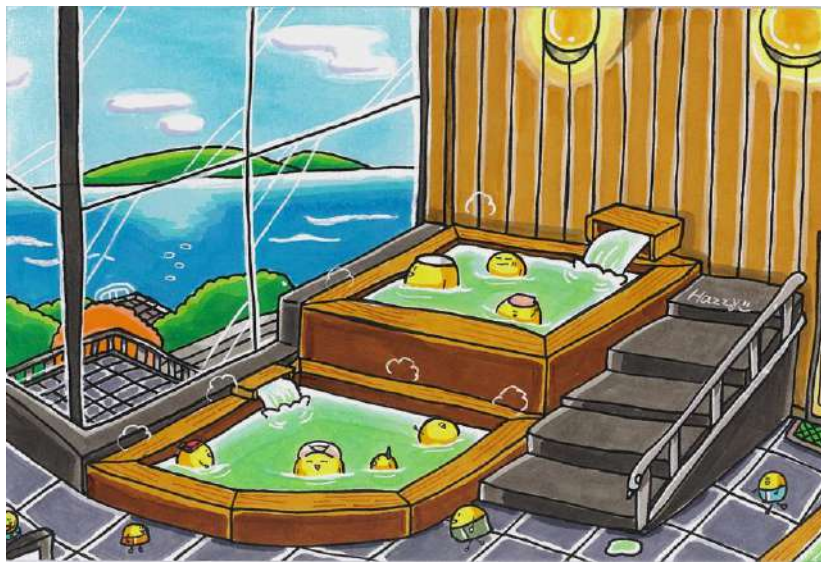
6 水族館で涼やかなひととき



7：ひまわり畑



8：焚火を囲む、夏の夜の団樂



9：海が見える温泉での癒しのひととき



10：家路に向かう秋の道



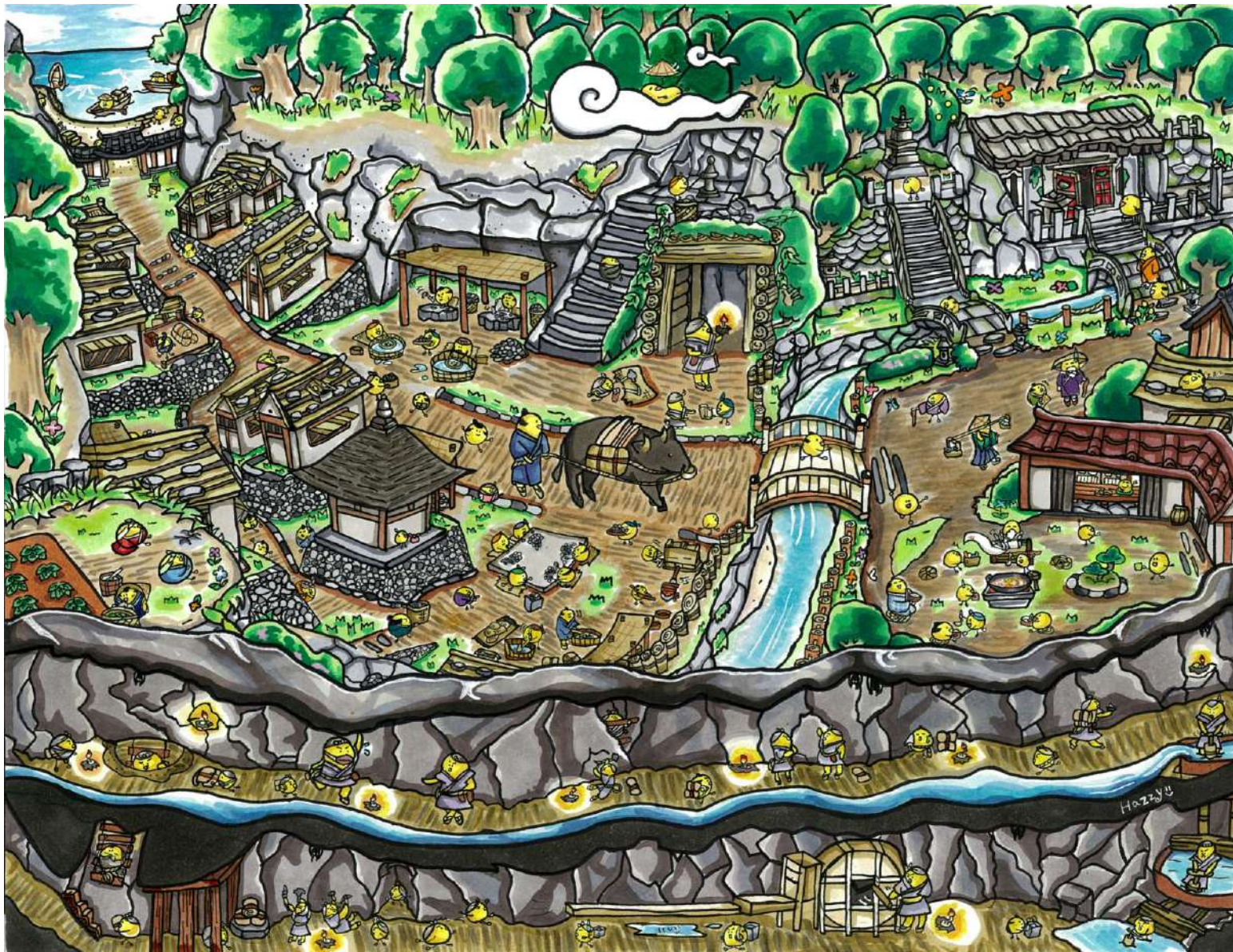
11：ただいま



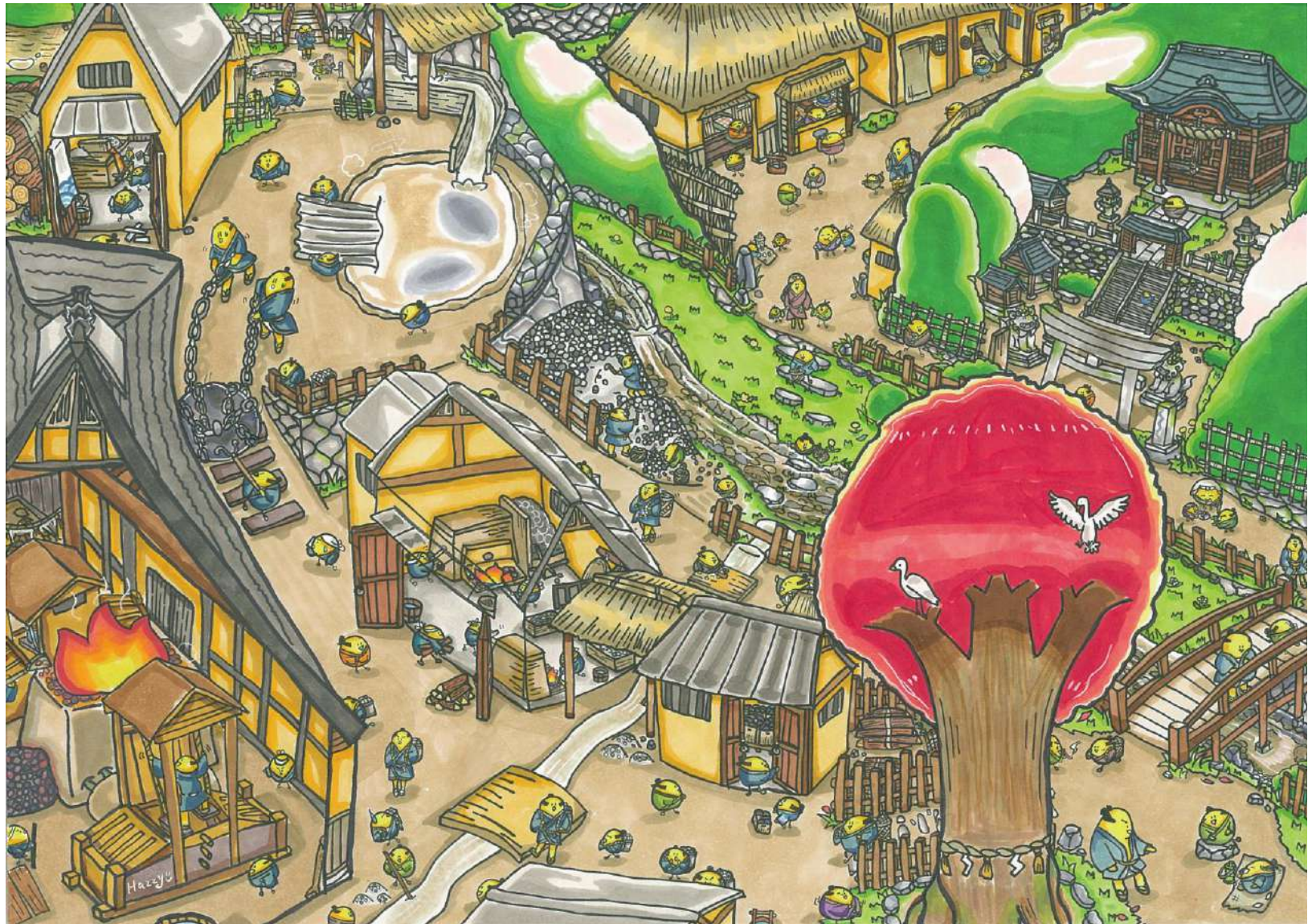
12：旅、楽しかったね。おやすみなさい



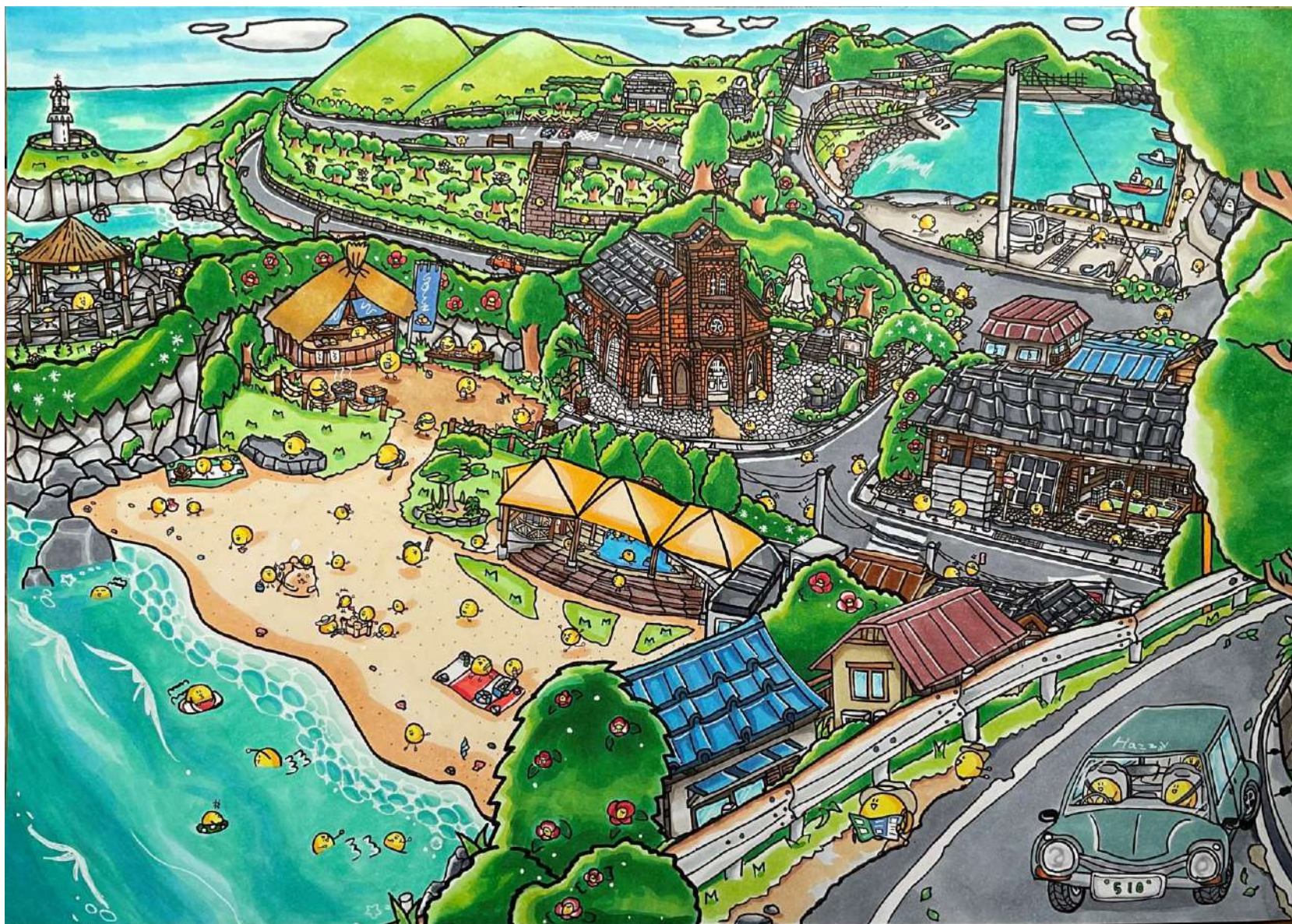
夏祭り



時空を超える銀の旅、石見 世界遺産：石見銀山



たたらの里～雲南に息づく鉄の記憶～



愛らんど五島